

令和7年4月
みどり幼稚園

みんなで植えたチューリップの球根からすくすくと葉が伸びてきて、今年も春が来たことを知らせてくれています。

ご入園、ご進級おめでとうございます。

いよいよ令和7年度、新学期が始まりました。子どもたちが元気に登園して来る日を教職員一同、みな心待ちにしておりました。新しいクラスはどこかな、おともだちと仲良く遊べるかな、新しい先生はだれかな、などとドキドキの4月です。少し緊張して登園してくるお子さんが安心して園生活を送れますよう一人一人に寄り添いながら、ゆっくりとていねいに過ごしてまいります。保護者の皆様もいろいろなご心配はあるかと思いますが、どうぞゆったりとした気持ちでお子さんを見守っていただければと思います。特に新入園のお子さんは新しい環境の中でがんばっていることと思います。帰りましたら、ぎゅっと抱きしめてあげてくださいね。

さて、少子化が止まりません。本園もその例外ではなく昨年度より園児数が減少しました。そのため、今年度は満3歳ふたば組と年少たんぼ組は合同のクラスとなり発達段階に応じて部分的に保育を分けて行う時間帯をもつことと致しました。担任教諭、補助教諭2名で担当致しますのでご理解・ご了承くださいますようお願い申し上げます。

感謝の気持ちをもって

昨年度、3月に前園医黒田正宏先生がお別れ会の時、子どもたちへ「おとうさん、おかあさんにありがとうの気持ちを伝えることのできる元気な子になってくださいね。」というメッセージをくださいました。黒田先生のそのシンプルなメッセージは今、急激に変化する時代の中でこそ忘れてはいけない「感謝」の気持ちをもつことを子どもたちに伝えてくださったと思います。家族やまわりの人たちへの感謝、自然の恵みへの感謝を改めて考えさせられました。

子どもたちが未来を豊かに生きていくための土台を築く

幼児期は生きる力の根っこを育てるかけがえのない時です。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力に感謝しながら教職員一同、力を尽くしてまいりたいと思います。

今年度もどうぞよろしくようお願い申し上げます。

園長 正部家 朱美

みどり幼稚園 教育目標

- 明るく元気な子
- 友達となかよく遊べる子
- 思いやりのあるやさしい子
- 最後までやりとげる子



4月の保育目標

- *園生活に親しみ喜んで登園する
- *先生や友達に親しみをもつ
- *園での過ごし方を知り、安心して生活する
- *所持品の始末ができる
- *新入園児に思いやりの気持ちをもつ。(進級児)

理事長	正部家 光彦	
園長	正部家 朱美	
教頭	御子柴 敦子	
満3歳	ふたば	御子柴 敦子
年少組	たんぽぽ	御子柴 敦子
年中組	ちゅうりっぷ	柳 沢 明香
年長組	ばら	齋 藤 幸子
補助教諭	高橋 紗也加	
未就園児教室	全 教 員	
預かり保育	田 中 文 子・全教員	
一時預かり保育 (2歳児)	吹 切 真 貴・全教員	
グレイプシード英語教室	ケヴィン メッツ・正部家 光彦	
事 務	高橋 恵美子・城 前 多加子	
運 転 手	槻木澤 幸 男・阿 部 勝 司	
バス乗務	橋 場 みどり・阿 保 有 梨	
給食・清掃	太 田 美也子・阿 保 有 梨・橋 場 みどり	



*どうぞ、よろしくお願い致します。

4月の園行事

★園行事の詳細は後ほどプリントでお知らせ致します。

月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12
		始業式 11:30帰り	入園式 (在園児休園)	11:30帰り	休園
14	15	16	17	18	19
給食開始 13:50帰り 家庭訪問開始					預かり保育
21	22	23	24	25	26
	避難訓練		英語教室 (年中組) (年長組)	保育参観 父母の会総会	休園
28	29	30	☆努力目標 親しみをもってあいさつをしよう		
	昭和の日 (休園)	お弁当の日			

令和6年度 自己評価報告書

令和7年3月25日
学校法人正栄学園 みどり幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・明るく元気な子
- ・思いやりのあるやさしい子
- ・友達と仲良く遊べる子
- ・最後までやりとげる子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 「生活する力」「関わる力」「学びに向かう力」の3つの柱のもとに子どもの姿を踏まえた保育者の関わり・環境構成を考え、実践する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	園内研修の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ○特別な支援の必要な子どもについて皆で共通理解できるように話し合われていた。情報を共有することができた。 ○架け橋プログラム作成では、全員で意見交換をし作成することができた。 ○気になる子への声のかけ方、関わり方を相談し合えた。
2	主体的な遊びの環境を工夫する	A	<ul style="list-style-type: none"> ○今まで出していなかった教材を自由に使うことで子どもたちに新たな製作意欲が生まれた。 ○お店屋さんごっこの形を変えたことで、異年齢の交流や自分たちで考えて行動する面が多く見られた。 ○子どもたちが作ってみたいという発想により近づけて遊べるよう材料を用意した。 ○「～をやりたい」という子どもの言葉を尊重して遊びを行うようにした。
3	からだを動かす遊びを工夫する	B	<ul style="list-style-type: none"> ○平均台、マット運動などを自由遊びの中でも多く展開するよう心がけた。 ○大なわとび、なわとび、鬼ごっこをする時間を作ったが、苦手意識のある子もいた。 ○うた遊び、リズム遊び、リトミック遊び、知縄、長縄など、意識的に取り入れる。

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	短時間であってもテーマをもって話し合うことで充実した研修会をすることができた。それぞれが参加した研修会報告も有意義だった。「～したい」という子どもの言葉を尊重したり、お店屋さんごっこのやり方をかえたり自主性が育つ方法を工夫した。運動することに苦手意識をもつ子へのはたらきかけを工夫していきたい


5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	子どもの発想を生かす造形遊び	自由遊びでの製作活動をさらに発展させ、表現する喜びを味わわせるようにする
2	発達の特性に合った運動遊び	からだを動かすことを好きになるよう、学年ごとの発達の特性を把握して、さまざまなからだを動かす活動に意欲的に取り組めるようにする
3	園内研修の充実	昨年度に引き続き短時間でも全員参加型の研修を行うとともに身近な講師(運動・リトミック・造形等)からも学び、日々の保育に取り入れ役立てるようにする

6. 学校関係者評価委員会の評価

- (1) 子どもたちの意見が生かされている場面や子どもたちの笑顔を見る機会が多くあった。
- (2) 行事等におけるこれまでと違った形態での工夫がとてもよかった。その年の実態に合わせて色々変化することが可能であることがわかった。
- (3) リトミックや体操などの活動を通して、親子一緒にからだを動かす活動がもっとあるとよい。
- (4) 「あいさつ」については、ご家庭での協力も得られるような働きかけも大切になってくる。年長組ではあいさつは徹底してもよいのではと考える。

令和6年度の教育や運営に対する保護者アンケートのまとめ

この度はアンケートにご協力くださりましてありがとうございます。集計の結果が出ましたのでお知らせします。全保護者34名の皆様からご回答いただくことができましたこと感謝申し上げます。今回もアンケートの集計は百分率ではなく実数を表示しました。A（そう思う）B（そう思うことが多い）の合計が34名の項目は 、A・B合わせて30名～33名◎、25名～29名○としています。

○ 毎年、身近な人や教職員にあいさつをするという項目が苦手とする子どもたちが多いような結果となっています。人と人との関わりに安心感をもち、親しみをもってあいさつできるよう見守っていき

たいと思います。
○ からだを動かして遊ぶことが好きな子どもが多い一方で、あまり、からだを動かしたがりない様子もときどき見られます。楽しみながらたくさんからだを動かす機会を増やしていきたいです。

在籍者数 34名
回答者数 34名

	評価項目	A	B	C	D	
1	子どもは幼稚園に行くのを楽しみにしている	25	8	1	0	◎
2	子どもは安心して自分の思いを出し、元気に遊んでいる	27	7	0	0	
3	友達と一緒に遊んだり友達の遊びに刺激を受けたりして、共に過ごすことの楽しさを味わっている	31	3	0	0	
4	遊びや集団生活に必要なきまりを知り、守ろうとする態度が育ってきている	22	11	1	0	◎
5	様々な物事に興味関心を示し、知的好奇心や思考力、感動する心などが育ってきている	26	7	1	0	◎
6	自ら遊びを作り出す楽しさを味わい、幼稚園生活を楽しんでいる	25	8	1	0	◎
7	子どもは遊びの楽しさを味わい、自信をもって行動できるようになってきた	21	12	1	0	◎
8	集団の中で、話をよく聞いたり、考えたり、互いに力を生かし合いながら、共に学び合う様子が見られた (年長組のみ)	9	1	0	0	
9	自分の力で考えたり工夫しながら、あきらめずにやり遂げる達成感を味わっている (年長組のみ)	7	2	1	0	◎
10	学級の中で幼児一人一人が大切にされている	31	3	0	0	
11	人に対する信頼感や思いやりの気持ち、自己抑制力などが育ってきている	21	11	2	0	◎
12	自分でできることは自分でしようとしている	14	18	1	0	◎
13	子どもは家族に、よくあいさつをしている	15	16	3	0	◎
14	子どもは身近な人や、教職員によくあいさつをしている。	8	15	10	1	△
15	子どもはしっかり体を動かし、体力が向上したり、たくましが育ったりしてきている	21	9	4	0	◎
16	経験したことや考えたことなどを言葉で伝えて楽しんでいる	22	11	1	0	◎
17	生命を尊重する心や自然を大切に作る気持ちが育つような取り組みがされていた	27	5	2	0	◎
18	幼稚園は、地震・津波・火災・不審者などに対する防災に取り組んでいる	26	8	0	0	
19	幼稚園は一人一人の幼児の育ちを保護者に伝えている	28	6	0	0	
20	幼稚園は保護者が様々な幼児と関わる機会をつくり、幼児の発達などに気づく機会をつくっている	28	5	1	0	◎
21	幼稚園は、保護者からの相談などに対して誠実に対応している	31	3	0	0	
22	教育方針や教育目標は、幼児や家庭・地域の実態にあったものだと思う	28	5	1	0	◎
23	幼稚園は教育目標や月ごとの活動について園便りやクラス便り等で分かりやすく伝えている	29	4	1	0	◎

令和6年度 保護者からの評価【自由記述】

みどり幼稚園

【満3歳児組】

- 担任の先生はもちろん、それ以外の先生方も子どもの好きなものや個性を理解して声掛けをして下さっていると感じます。子ども自身も楽しそうに通っていて、先生方を信頼しているように思います。

【年少組】

- 手のかかる年齢の子を、いつも怒ったりとがめたりせず、優しく見守って下さってありがとうございます。いつも家は私が怒ってばかりいるので、先生方の気長で粘り強い接し方から学ばせていただいております。家にいる時より幼稚園にいる時の方が伸び伸びと遊んでいるように見えます。今まで一度も幼稚園に行きたくないと言ったことがありません。楽しい園生活をありがとうございます。
- 幼稚園での出来事をまだ上手に話して伝えることが難しい時期は、先生と直接話すということがとても重要に感じました。お便りでの連絡だけではなく、送り迎えの時に様子を教えていただき安心して送り出すことができました。担任の先生はもちろん、他の先生方にもよく声を掛けて見守っていただき感謝しています。
ありがとうございました。

【年中組】

- この一年で前向きにチャレンジする力が大きくなったと思います。本人の自信を持たせるようご指導いただいたことや、私たち保護者にもお会いするたび園での様子を詳しくお知らせいただいたことに安心して登園させることができました。
本当にありがとうございました。
- 遊び・学び・運動などのバランスがとてもいいと思います。また、教職員の皆様がとても親切です。ありがとうございます。以前いただいた給食のレシピをまたお願いしたいです。

【年長組】

- インスタのストーリーを仕事終わりに見るのが小さな楽しみでした。子どもの園での様子や、楽しそうな姿が見られて良かったです。ありがとうございました。
- 入園前から職員さんのあいさつや対応すべてがすばらしく、それは卒園するまでずっとすばらしいと感じられ、とても良い先生方に恵まれたなあと感謝しています。知人にも、みどり幼稚園をおすすめしています。行事や父母会など、保護者が参加する日をもう少し前から分かっていると調整しやすいなあと思います。
園庭も園舎も、いつも清潔に保っていただけたのも、毎日ありがたく感心していました。ありがとうございました。